

ETAP Technical Report – No. 001

単線接続図 One Line Diagram Presentation

概要:

ETAP は、ひとつのプロジェクトの中で、単線接続図の表現を解析の目的に応じていろいろ変えて、幾つでも作成することが出来ます。これらの単線接続図は、見た目は異なりますが、系統構成・機器接続・機器データなど、内容は全て同じです。

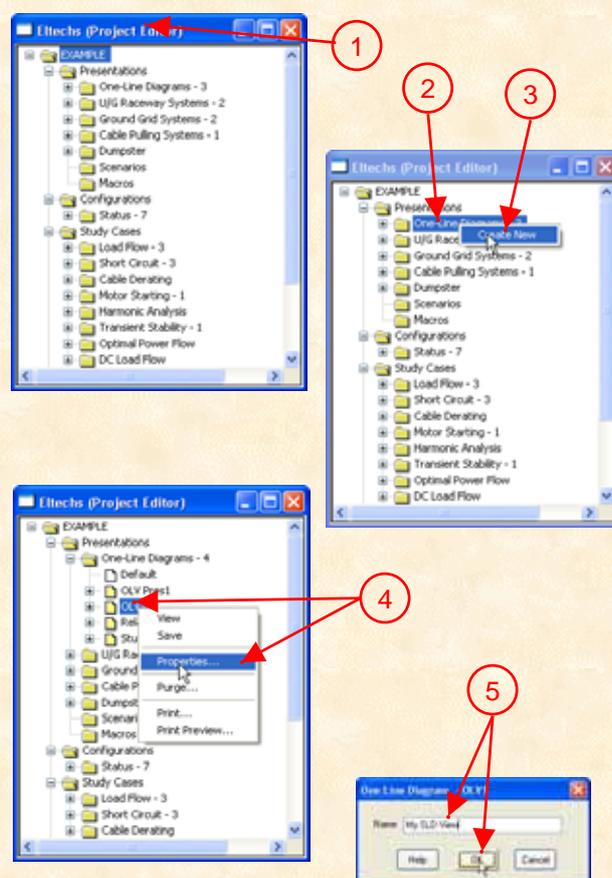
<例えば、シンボルを IEC から ANSI へ、エレメント（機器）の大きさや向き、遮断器や保護継電器などを見えるようにする・見えないようにする、タイトルやメモを入れる・入れないなど>

目的:

例えば、<スタディ・ビュー> は計算の結果を見や易くするために（遮断器や保護継電器などを見えないようにした単線接続図）、<リレー・ビュー> は保護協調の検討のために（断器や保護継電器などを見えるようにした単線接続図）というように、自由度を持った入力データおよび結果の表現を可能にします。

操作方法:

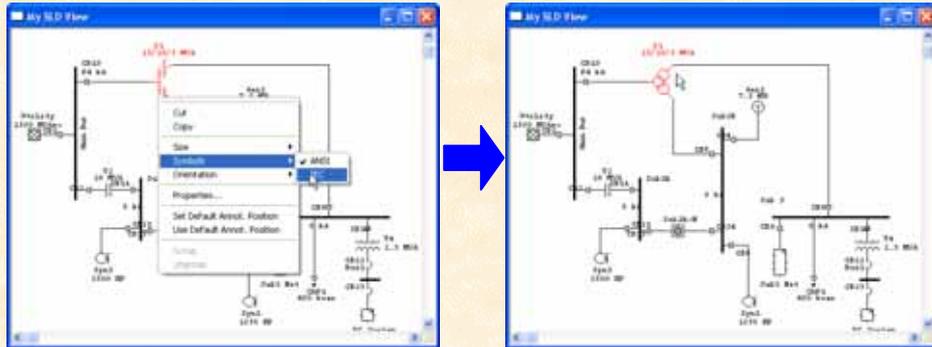
1. ETAP を立ち上げて“Project Editor” をアクティブにします。（エクスプローラのようなツリー構造をしたウィンドウです）
2. “One-Line Diagrams-X”というホルダーを右クリックします。（“X” はいま操作しているプロジェクトで作られている単線接続図の数を表しています）
3. “Create New(新規作成)” をクリックします。デフォルト名 “OLVx” という単線接続図が作成されます。（“x” はシリアル番号です）
4. 作成された “OLVx” というホルダーを右クリック、表れたプルダウンメニューの “Properties” をクリックし、“OLVx” という単線接続図の名称を、お好みの名称（例えば “My SLD View”）に変更することが出来ます。
5. お好みの名称（例えば “My SLD View”）を入力し OK をクリックします。



知らなかった、ETAP のこんな機能！

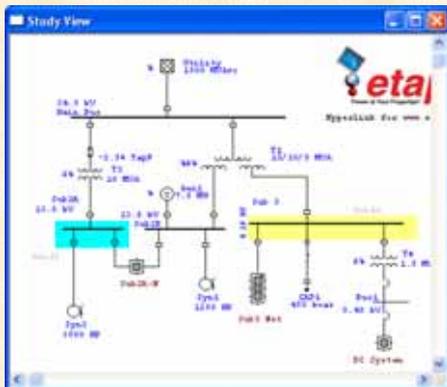
6. 新たに作成した単線接続図上の表現(シンボルを IEC から ANSI へ、エレメント(機器)の大きさや向き、遮断器や保護継電器などを見えるようにする・見えないようにする、タイトルやメモを入れる・入れないなど)を解析の目的に応じて変更してみてください。

例えば、3巻線変圧器のシンボルを ANSI (左図) から IEC (右図) 変更すると下図のようになります。



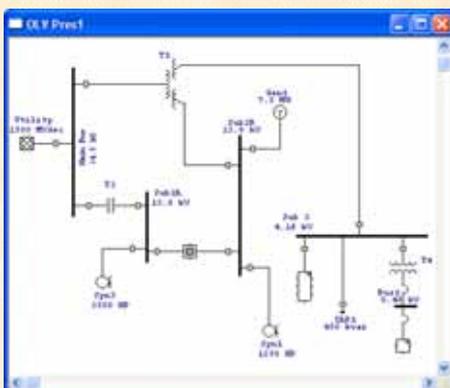
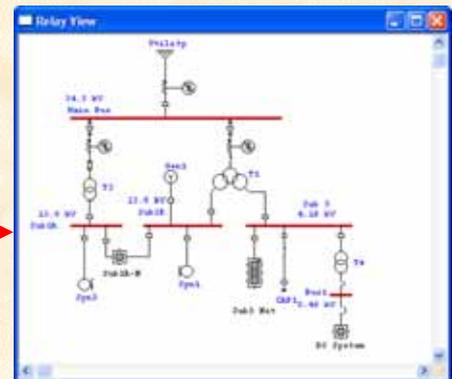
単線接続図の表現例:

いろいろ目的に応じて表現方法を変えた単線接続図の例を並べてみました。



スタディ・ビュー: 計算の結果を見や易くするために、遮断器や保護継電器などを見えないようにした単線接続図です。

リレー・ビュー: 保護協調の検討のために、遮断器や保護継電器などを見えるようにした単線接続図です。



もうひとつの単線接続図: 機器や母線の向き、シンボル、機器の配置を変えた単線接続図です。見た目は異なりますが、これらの単線接続図の系統構成・接続など内容は全て同じです。